

第2979回 例会 令和7年10月23日(木)

出席委員会委員長	山下 民義
会員総数	19名
本日の出席者(免除者)	15名(3名)
本日の出席率	78.9%

会長あいさつ

会長 神谷 林 君

私は政治にあまり興味がありませんが、先日、女性総理大臣が誕生しましたね。

万博も終わりましたが、私は火星の石が展示してある日本館とIPS細胞による人工心臓のパソナ館に抽選で外れたので結局行かずに終わりました。自然界の進化がもたらした人間の心臓や筋肉の驚異的な力を、科学的な進歩をもってしても解明できない不可思議なものとして、昔から疑問を抱き続けています。そしていつか展示を見る機会を望んでいます。

今週のスマイル

親睦委員長 早川比呂太 君

地区米山記念奨学委員会 稲本良二君

本日は貴クラブの例会に米山卓話のご依頼をいただきありがとうございます。限られた時間ではありますがよろしくお願い致します。

神谷 林君 稲本君の卓話、楽しみに聞かせてもらいます。

尾崎三枝子君 地区米山記念奨学委員会 稲本良二様、本日はよろしくお願い致します。

渡邊 徹君 地区米山記念奨学委員会 稲本様、本日はよろしくお願い致します。

鳥居萬里君 地区米山 稲本良二君です。よろしくお願い致します。急に寒くなってきたので体調管理に気を付けましょう。

山下民義君 地区米山委員会 稲本様、本日の卓話ご苦労様です。

藤井知明君 米山委員会 稲本様、ようこそ一色 RC へ。卓話よろしくお願い致します。

池田宣明君 稲本良二様、宜しくお願ひします。

早川比呂太君 地区米山稲本様、本日はご指導よろしくお願い致します。

9件 18,000円

本日の卓話

「外国人留学生を支援する米山記念奨学会について」

地区米山記念奨学委員会 稲本良二 君

日本のロータリーの創設者・米山梅吉が1946年に逝去した後生前の功績をたたえ、後世まで残る有益な事業を行いたい、そんな思いからその6年後の1952年に東京 RC が発表した「米山基金」は海外の優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学金事業を開始しました。その背景には二度と戦争の悲劇を繰り返さないために「平和日本」を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという強い願いがありました。その後、事業は発展を繰り返して現在では日本のロータリーが共同で運営する、国内最大級の民間奨学団体となりました。

これまでに支援した奨学生は2万4,000人にのぼりました。出身国は中国、韓国、台湾を中心に世界134の国



と地域に及びます。外国人留学生を対象とする民間奨学事業では国内最大級です。

これは日本独自の奨学制度でその奨学金は日本のロータリアンの寄付金で賄っています。寄付金の種類は安定財源としてクラブが決定した金額を会員数分毎年全クラブから納入していただく「普通寄付金」と、個人、法人、クラブからの任意寄付で金額に決まりはない「特別寄付金」とがあります。

2024～25年度の寄付金収入は13億3,052万円でした。ではその浄財をどのようにして使っているかという、奨学生のための行事や研修会はもちろんのこと、世話クラブへの補助金や事務部門の人件費として全体の97%が事業費として使われています。奨学金は大学の学部課程は毎月10万円、修士課程と博士課程は毎月14万円を学費の支援の目的で毎月例会時に渡します。奨学金は一般的には将来返還義務が生ずると思いがちですが、米山奨学金には返済義務はありません。しかしながら奨学生に認定されるには相当の高いハードルもあります。まずは大学の教授の推薦、次に第一次審査として書類審査、第二次、第三次の面接試験、そして第四次の世話クラブの受け入れ依頼となります。審査基準としては、ロータリー活動を理解し、積極的な行事の参加や日本語が堪能でコミュニケーション能力などを特に重視して審査を行います。成績優秀者や経済的困窮者が優先では決してありません。また最低月に一度の例会出席義務と近況報告をしてもらいます。今年度の2760地区では56名の奨学生が誕生しています。

こうして一般的には1年間の奨学金プログラムを終了すると、米山学友会に入会します。これは現役の奨学生と共に構成されてる団体です。この会は世代や国境をこえた交流の場として機能し、学友と現役奨学生が互いに学び合い、支え合うコミュニティを形成し、国際理解と友情を深め、社会貢献活動を推進しています。日本国内には33の学友会があり、海外には韓国、台湾、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、ミャンマー、ベトナム、の10の学友会が存在します。合計43団体で構成されて、独自の奉仕活動を実施し、日本と母国の交流の架け橋として活動しています。

種をまき、養分を与え成長させるのは、紛れもなく米山記念奨学事業を支援して下さった皆様ですが、その成果にふれ、感動を実感しておられるロータリアンはまだまだ少ないのではないのでしょうか。最初はカウンセラーの引き受けを迷われる方もいますが、是非とも奨学生や学友と交流し、彼らの活動に目を向け、成長を実感し当事業の素晴らしさと、意義に対するご理解を深めていただきますよう宜しくお願いをいたします。

今週の献立

【福きたる】

